

# タイルメンテナンスについて

タイルのメンテナンス方法は、施工場所と付着する汚れの程度によって様々です。ここでは一般的なタイルのメンテナンス方法をご紹介します。

	使用場所	メンテナンス方法	メンテナンス注意点
内装床タイル	室内床面 マンション共同床面 商業施設床面 浴室 キッチン トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的なメンテナンスは布、モップ、ホウキ等の拭き掃除を行ってください。</li> <li>●部分的にとれにくい汚れが付いた場合は、市販の中性洗剤を使用しモップや布で拭き取ってください。</li> <li>●掃除機でホコリやチリを吸い取ります。</li> <li>●水拭き、もしくは中性洗剤などで洗浄してください。浴室床の場合、中性洗剤をかけブラシでこすってください。</li> <li>●目地に汚れがついた場合、歯ブラシなどで洗剤をつけて軽く擦り落としてください。</li> <li>●キッチンの油汚れはスチームクリーナーを使用することで除去できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常メンテナンスには、酸性やアルカリ洗剤を使用しないでください。</li> <li>●洗浄の後は汚れが目地や表面に残らないようきれいなウェスで拭き取ってください。</li> <li>●磨きタイルの場合、酸性やアルカリ性の薬品を使用しないでください。色落ちの原因となります。また、化学モップ等の溶剤成分が含まれるものを使用した場合、タイルの表面を痛める場合がありますのでご注意ください。</li> <li>●カビ取り剤を使用する場合、塩素系のカビ取り剤は色落ちする場合があります。また使用する場合は換気の良い場所でご使用ください。</li> <li>●油汚れはなるべく早めに拭き取ってください。固まると汚れが落ちにくくなります。</li> <li>●トイレなどの汚れは目地材にしみ込んでしまいます。汚れが固着しないように日頃の清掃をしてください。</li> <li>●浴室はカビの発生を抑制するために室内の換気を十分に行い湿気をこもらせないようにしてください。</li> </ul>
屋外床タイル (グリップタイル)	玄関 ポーチ マンションエントランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常のお手入れ方法はホウキなどでの掃き掃除、水洗いの場合はデッキブラシやモップをご使用ください。</li> <li>●しつこい汚れにはポリッシャーをご使用ください。</li> <li>●汚れが落ちにくい場合は市販の中性洗剤、弱酸性洗剤を使用してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外タイルは表面凹凸があるため汚れがつきやすくなっています。デッキブラシを使って洗い流してください。</li> <li>●洗浄後は汚水をきれいに洗い流し、拭き取ってください。</li> </ul>

## [その他メンテナンス及び注意事項]

### 各種汚れメンテナンス方法

#### ●砂泥汚れの場合

砂泥汚れはタイル表面にのっているだけです。雑巾・モップ・ホウキ、掃除機等で清掃してください。

#### ●靴底のゴム跡（ヒールマーク）の場合

一般的にゴム跡はゴムが浸透しているのではなく、表面に付着しているだけです。温水や中性洗剤で濡らし固くしぼった雑巾等で擦ってください。それでも落ちない場合はブラシやメラミンフォームや砂消しゴムを使って擦ってください。

#### ●油汚れの場合

油汚れは放置しておく、滑る危険性もありますので、なるべく早めに拭き取ってください。油は粒子が細かいため、放置しておく、タイル表面の凹凸に付着し凝固したり表面に染み込んだりします。なるべく早めに除去してください。

#### ●コーヒー・ワイン・調味料の場合

タイルは表面に肉眼で見ることのできないミクロの穴が開いており、わずかながら吸水性があります。仮に、床にコーヒーやワイン、調味料がこぼれた場合、そのまま放置しておく、汚れがシミの原因となりますので、なるべく早めに拭き取ってください。

#### ●食品スーパーや鮮魚売場の床汚れ

食品スーパーなどの生肉・鮮魚に含まれる脂分、動物性たんぱく質等が長時間放置されると汚れが凝固してこびり付くことがあります。水や中性洗剤で濡らし固くしぼった雑巾等でよく拭き取ってください。

### 内装タイル（マット、磨き仕上げ）の特性について

内装タイルは耐久性・耐摩耗性に優れ、メンテナンスが容易でランニングコストを抑えられることが特色ですが、表面の仕上げにより、施工方法・メンテナンス方法について注意事項があります。

#### ●ご使用前の注意事項

マット、磨き仕上げのタイルは、水濡れする床では滑りやすいのでご注意ください。使用する場合、入口に足拭きマットを使用し、滑り防止してください。

磨きタイルは、表面に傷が付きやすいため重歩行の場所ではご使用は避けてください。タイルはISOやJIS等の規格に基づいて製造されますが、凸反り・凹反り・ねじれ等があります。商品の特性上、磨きタイルの方がより反射の揺らぎが大きくなります。

白色・黒色は特に汚れが目立ちやすい傾向があります。表面が変化または傷んでしまった場合、コーティング剤等での現場修復は難しいのでご注意ください。

#### ●マット、磨き仕上げの施工注意事項

マット、磨き仕上げタイルは、タイル表面を研磨仕上げした後、表面の細孔を保護材で埋めながら高光沢になるように磨き仕上げをしています。施工後タイル表面に付着している余分な保護剤は、水拭きや中性洗剤で洗浄してください。目地詰め後、汚れが残らないようによく表面をクリーニングしてください。

磨きタイルの場合、目地材除去後、目地部周辺の表面に付着した保護剤のみがとれてしまい、水の濡れ具合が変化して見える場合があります。磨きタイルでは、目地部からタイル面に白華現象が生じた場合、除去後ももってみえる場合があります。粘着力の強い養生テープ、ガム

テープ等は、その粘着成分が磨きタイルの保護剤を剥離させますので使用しないでください。マスキングテープでも、長時間貼り付けたままにしないでください。磨きタイルの場合、保護剤が剥離するとタイル面が汚れ、修復は難しいので予めご注意ください。磨きタイルを養生する際は、接着剤、モルタルセメント、目地材が完全に硬化、乾燥してから養生してください。

乾燥が不十分の場合、プラダン等で密閉し養生した場合、アルカリ性の高い結露水がタイルの表面を傷めて汚れる場合がありますのでご注意ください。

### 屋外床タイル（グリップタイル）の特性について

表面を凹凸仕上げにしたり、表面を防滑仕上げにすることで表面をザラザラにして滑り止め硬化を高めています。水まわりや雨などの水に濡れて滑りやすい床に適しています。ただし、その効果の反面、凹凸やザラつきに汚れが付着しやすくなります。

#### ●ご使用前注意事項

グリップタイルでも製品によって表面の滑り抵抗値は様々です。使用前に必ずカットサンプルやショールームでお確かめください。防滑が強いグリップタイルは、汚れが付着しやすくなり、メンテナンスにも手間がかかります。白色・黒色は特に汚れが目立ちます。

#### ●屋外タイルの施工注意事項

屋外床タイルは、表面に凹凸がありますので目地を拭き取る際に目地残りのないようによく拭き取ってください。凹凸がある仕上げは目地残りが目立つ場合がありますので、施工前に目地詰めテストをしてご確認ください。目地材に記載の使用法や注意点をよく確認してからご使用ください。